

茨城事業所 RC方針

石油化学は、社会基盤を支え人々の暮らしに貢献する一方、エネルギーの消費、廃棄物の排出等、環境への負荷を伴う産業である。加えて、石化プラントにおける事故は社会不安や環境問題を惹き起こす危険性を有する。

茨城事業所は、環境を保全し、尊い命を守る使命の重さを強く自覚し、「MCGグループ 環境安全ポリシー」及び「三菱ケミカル 環境安全に関する方針」「三菱ケミカル 品質保証活動計画」に基づき、RC方針を以下の通り定める。

① 「環境・安全」の確保は、事業活動の大前提

あらゆる事業活動において、自らの責任を自覚し行動できる人材を育成し、災害の防止並びに地域環境及び地球環境の保護に最大限の努力を傾注することにより、人の健康・安全及び環境に与える影響を最小限にする。

② お客様への安心の提供と品質保証

化学物質等の取扱時や製品の物流、使用、廃棄等の際における事故及び災害を防止するため、取り扱う全ての化学物質及びその他の製品・サービスに関する最新の安全性情報、環境影響情報の収集及び整備に努め、必要に応じてこれらの情報を関係先に提供するとともに、その品質を維持・向上させ、保証することを通してお客様に安心を提供する。

③ 事故及び労災はゼロ目標

事業活動における保安・環境事故や労働災害を防止するため、科学的知見を基に過去の事例を解析するとともに、常に現状を見直し、環境安全に関するリスクを特定して、本質安全に向けた適切な対策を講じることによって、リスクを低減して事故及び労災のゼロを追求する。

④ 廃棄物及び化学物質の排出の最少化の推進

事業活動において発生する廃棄物の削減、循環及び再資源化を行い、ゼロエミッションを目指す。また、潜在的リスクがある化学物質等については、使用と排出の最少化を進める。

⑤ 省資源及び省エネルギーの推進

資源保護及び地球温暖化の防止等の観点から、省資源及び省エネルギーをより一層推進する。

⑥ 「環境・安全」のための技術、製品開発の推進

既存技術の見直しを含め、技術開発及び研究開発によって、より安全で環境負荷の少ないプロセス及び製品の開発に努める。

⑦ 社会からの信頼向上

法令・企業倫理の遵守はもとより、自分達が守ると決めた全てのことを確実に守り、これを継続する。また、環境・安全に関する社会の要請を把握し、これを事業活動に反映させるとともに、その取り組みと成果の公表などを通して社会とのコミュニケーションを図り、社会の理解と社会からの信頼の確保に努める。

2025年 4月1日

三菱ケミカル株式会社

茨城事業所長 加藤大雄